

第 3 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 2 年 6 月 25 日（木曜） 午後 2 時 45 分～午後 3 時 30 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出席委員	五十嵐委員、澤委員、神田（征）委員、本間委員、阿部（勝）委員、山賀委員、工藤委員、菅原委員、鶴巻委員、村山委員 10 人
欠席委員	小池委員
事務局 関 係 課	菊地建設課長、古寺北出張所長、地域総務課（中川課長補佐、高田）
会 議 要 旨	<p>1 令和 2 年度自治協議会提案事業「北区交通マップ作成」について 事業の目的等を共有し、第 1・2 回の書面開催結果を確認しました。また、事業内容について、以下のとおり協議しました。</p> <p>① マップのサイズについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>A2 サイズ（旧マップと同サイズ）に決定。</u> ・ まずは区内にどのような公共交通があり、どのように利用できるかを知ってもらうことを目的として作成する。 ・ 使い方としては、家での保管や公共施設等での掲示、地域内での活用が想定される。 ・ 各公共交通が作成している時刻表等の設置場所や問い合わせ先を明記する。 <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時刻等の詳細情報を知りたい場合は、各公共交通が作成している時刻表やご利用案内を確認してもらえば良いのでは。 ・ 地図を大きくし、バス路線や停留所名が分かりやすいようにしたい。 ・ サイズが小さい方が持ち運びには便利だが、小さく限られた掲載スペースの中で、各公共交通を紹介するとなると、分かりにくくなる可能性がある。 <p>② 掲載内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の部会で検討する。 ・ 次回の部会では、事務局案をもとに協議を重ねる。 <p>[主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に地域の人が利用する公共交通の情報をメインに掲載する

べきである。

- どのように公共交通を利用するかは地域によって違う。
- 自治会ごとにマップを作成するのが良いと思うが、収集がつかなくなる。
- 公共交通に関する情報だけでなく、主要な施設名や道路名も掲載し、地図としても使えるようにしてはどうか。
- 本事業は原則単年度事業であり、毎年マップを作成することは難しい。時刻表などの変動する情報は掲載しない方が良いのでは。
- 高齢者の免許返納に関する情報を掲載してはどうか。また、免許返納後の高齢者に役立つ情報を掲載してはどうか。
- バスに乗りたけれど、乗り方が分からない高齢者が多い。バスの乗り方講座のようなものを開催できると良い。

以上

第 3 回 福祉教育部会 会議概要

日時	令和 2 年 6 月 25 日 (木) 午後 2 時 45 分～午後 3 時 45 分		
会場	北地区コミュニティセンター 講座室 2		
出席委員	清水委員、梅津委員、樺山委員、平松委員、佐久間委員、 5 人		
欠席委員	神田(恭)委員、小林委員、相馬委員、藤沢委員、中嶋委員 5 人		
事務局	川崎課長 (健康福祉課)、拝野館長 (豊栄地区公民館)、小林教育支援センター長、高野・深沢 (地域総務課)		
会議 要旨	<p>(1)令和 3 年度自治協議会提案事業について 期日までに提案をお願いします。</p> <p>(2) 令和 2 年度自治協議会提案事業「福祉教育部会だより」について 事務局より資料に基づいて説明がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ① 対象は小学生・中学生限定 ② 応援団向けも掲載 ③ 福祉内容も掲載としてよいか。 <ul style="list-style-type: none"> ・よい 10 人 感想など ・価値観が多様化し、難しい社会ではありますが、子育てにおける「不易」をわかりやすく、共感してもらえる冊子になるよう努力したい。 ・思春期頃までのことなどを記載すると、難しい年ごろのこの接し方などが分かり、対応できる。 ◆ 担当分け (案) について希望を踏まえ、以下を各担当案としました。 		
	担当	委員名 (敬称略・順不同)	事務局
	保護者・子ども向け	梅津・佐久間・樺山・中嶋	教育支援センター・高野
	応援団向け 福祉	藤沢・相馬・平松 清水・神田・小林	豊栄地区公民館 健康福祉課・深沢
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 掲載内容について 【保護者向けまたは応援団向け】 隙間に「オオカミに育てられた子ども」アマラとカマラの話を書きたい。子どもにスマホを持たせる注意点、依存症、恐怖、責任のような内容。コミュニケーションの大切さ。 思春期、反抗期、LGBT について。 高齢者応援団向けに、子どもとの接し方、触れ合い方、声掛けの仕方。 			

【子ども向け】

親の言い分と子どもの言い分。

悩んでいる子どもが自分で読んで相談できるようなページ

【福祉】

福祉分野ごと（高齢者、児童、障がい者など）の連絡先があるとよい。

認知症の方に接するときのちょっとした心がけなど（認知症サポーター養成講座）

少し唐突な感じがするので、思春期における赤ちゃんとの触れ合い体験などから入っていくと受け入れられやすいのでは。

◆ 割付案(前回同様 16P)、スケジュールの提示がありました。

(3)北区教育ミーティングについて

北区教育支援センターより今年度の予定について説明がありました。

・例年 2 回行っていたが、今年は 1 回の予定。詳細は決まり次第お知らせする。

第3回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和2年6月25日（木曜） 午後3時00分～午後4時00分
会 場	北地区コミュニティセンター
出席委員	阿部(美)部会長、本間(久)副部会長、赤間委員、松田委員、黒川委員 原委員、皆川委員、本田委員、渡邊委員
欠席委員	
事務局 関係課	産業振興課（山際課長、村山係長）、区民生活課（高橋課長）、地域総務課（長谷川課長補佐、伊藤副主査）
会議要旨	<p>○ラムサール条約研修会について</p> <p>環境政策課の小林主査からラムサール条約及びラムサール条約湿地自治体認証制度について講演していただき、知識を深めた。</p> <p>福島潟のラムサール条約湿地登録に向けた取り組みは、市が推進しているSDGs（持続可能な開発目標）における自然との共生の考え方と合致しており、福島潟の多面的な機能の魅力を多くの人と共有することの重要性を再確認した。</p> <p>○自治協議会提案事業「福島潟賑わい創出事業」について</p> <p>今年度の実施方針について意見を交わした。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、当初予定していたイベントの実施をやめ、ほかの活動に切り替えることに決定した。具体的な活動内容は次の部会で検討することとし、それまでに各委員で活動案を考えてくることとした。</p> <p><主な意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟は魅力発信のPRが上手くない。HPや動画、横断幕などを活用して、福島潟の魅力を広く発信するのが良いのではないか ・福島潟の魅力を発信することでラムサール条約登録への機運を醸成するのが良いと思う